

# 「省エネ東京仕様2007」策定

東京都の新規施設を最高水準の省エネ仕様で整備

## 高断熱・高効率設備で大幅なCO<sub>2</sub>削減

- ☆ 建物の熱負荷抑制
- ☆ 設備システムの高効率化

### 東京都建築物環境計画書制度

同制度の省エネ評価で最高段階（段階3相当）

## 庁舎イメージ

～ CO<sub>2</sub>排出量を約3割削減～（庁舎モデル3,000㎡の場合）

### 再生可能エネルギーの導入\*

太陽光発電設備  
の設置

### 緑化推進\*

緑化基準を大きく  
上回る緑地の創出

### 建物の熱負荷抑制

屋上断熱50mm→75mm

複層ガラス

気密サッシ

庇（500mm水平）

外壁断熱25mm→50mm

### 設備システムの高効率化

<高効率機器>

・空調機器、変圧器等

<きめ細かい運転>

・空調・照明スケジュール制御等

\*施設の立地条件や用途に応じて、太陽光発電、太陽熱利用など再生可能エネルギーの導入と緑化を推進  
<庁舎モデルによるCO<sub>2</sub>試算> CO<sub>2</sub>削減値は2000年比22.3%～32.1%削減見込み  
対象施設：庁舎、学校、病院等

**標準導入項目例**

省エネ技術項目			配慮内容	庁舎				学校		病院		
				RC造 4F2250 ~4500 ㎡未満	RC造 4F1000 ~5000 ㎡未満	SRC造 B1~8F 10000㎡ 以上	SRC造 B1~8F 10000㎡ 以上	一般 RC造4F 8500㎡	普通 RC造4F 8500㎡	総合 SRC造 B1~9F 12000㎡	総合 SRC造 B2~8F 40000㎡	
				2000	2007	2000	2007	2000	2007	2000	2007	
建築	躯体断熱	屋根断熱(50→75mm)	断熱	○	○	○	○	○	○	○	○	
		外壁断熱(25→50mm)	断熱	○	○	○	○	○	○	○	○	
	開口部断熱	複層ガラス	断熱	-	○	-	○	-	○	-	○	
		気密サッシ	断熱	-	○	-	○	-	○	-	○	
	日射遮蔽	庇(500mm程度)	断熱	-	○	-	○	-	○	-	○	
	外構等	屋上緑化率	緑化	○	○	○	○	○	○	○	○	
電気	トッランナー変圧器		高効率	○	○	○	○	○	○	○	○	
	デマンド監視装置(電力監視装置)		最適化	-	○	-	○	-	-	-	○	
	照明	Hf型蛍光灯	高効率	○	○	○	○	○	○	○	○	
		電球型蛍光灯	高効率	○	○	○	○	○	○	○	○	
		人感センサー	最適化	-	○	-	○	-	○	-	○	
		適正照度調整システム	最適化	-	○	-	○	-	○	-	○	
		昼光連動制御システム	最適化	-	○	-	○	-	○	-	○	
		タイムスケジュール制御システム	最適化	-	○	-	○	-	○	-	○	
		スイッチ回路の細分化	最適化	○	○	○	○	○	○	○	○	
		高輝度誘導灯	高効率	○	○	○	○	○	○	○	○	
高輝度放電ランプ		高効率	○	○	○	○	○	○	○	○		
太陽光発電	再エネ	-	●	-	●	-	●	-	●			
機械	熱源	トッランナー熱源機器	高効率	-	○	-	○	-	-	-	○	
		クールヒートトレンチ	再エネ	-	○	-	○	-	-	-	-	
	空調設備	VAV	高効率	-	○	○	○	-	-	-	○	
		VWV	高効率	-	○	○	○	-	-	-	○	
		トッランナーエアコン	高効率	-	○	-	○	-	○	-	-	
	換気設備	外気導入制御システム(CO2センサー)	高効率	-	○	○	○	-	-	-	○	
		外気冷房	高効率	-	○	-	○	-	-	-	○	
		全熱交換器(同ユニット)	高効率	○	○	○	○	-	○	○	○	
	システムによる負荷低減	自動制御設備	最適化	○	○	○	○	-	○	○	○	
		中央監視設備(BEMS)	最適化	-	○	-	○	-	-	-	○	
	給水衛生設備	衛生設備	節水器具	-	○	○	○	○	○	○	○	○
			トイレの擬音装置	-	-	○	-	○	○	-	○	○
			高効率給湯器	高効率	-	○	-	○	-	○	-	○
搬送	エレベーター	電力回生制御	高効率	-	●	-	●	-	●	-	●	
		回生電力蓄電システム	高効率	-	-	-	●	-	-	-	●	
共通	雨水利用		-	-	●	-	●	-	●	-	●	
	コージェネレーション		高効率	-	-	-	-	-	-	-	●	
	ナイトバージ		最適化	-	-	-	●	-	-	-	-	
	エコマテ		-	●	●	●	●	●	●	●	●	

凡例 ○:適用 ●:オプション -:検討

断熱:建築物の熱負荷抑制

注1) 工事対象の物件において数量、スペック等は異なる

高効率:設備システムの高効率化

注2) 工事対象の物件において上記の項目を行えない場合がある

最適化:設備システム的最適運転

注3) 緑化は規制値20%とし、21%以上は物件ごとに検討

再エネ:再生可能エネルギー

(お問合せ先)

財務局建築保全部技術管理課

直通03(5388)2839